

OPENING CONCERT SERIES

# riscoperta2026

～15年目の旅～



Vn 服部 奈々

Vc 松本 ゆり子

Cb 寺田 和正

Vn 田口 史織

2026

5.16 土 開演14:00  
(開場13:30)

## NoteTrail音楽サロン

チケット3,500円(全席自由)

### アクセス

電車でお越しの方

横浜市営地下鉄 吉野町駅 徒歩6分  
京急本線 南太田駅 徒歩12分

お車でお越しの方

首都高速神奈川3号狩場線  
花之木ICから 0.8km  
阪東橋ICから 1.5km

\*駐車場のご用意はございません、  
お車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。



### Program

・小谷野謙一

2つのVn. Vc. Cb.のための四重奏曲

・鍾祥

委嘱作品(初演)

・ロッシーニ

弦楽のためのソナタ 第1番 ト長調

ほか

\*出演者・曲目が変更となる場合がございます。

チケットに関するお問い合わせ：  
ensembliscoperta@gmail.com



NOTE TRAIL  
CLASSIC MUSIC SALON

横浜市に佇む、8m近い高天井と  
極上の音響を備えた、優雅なサロンホール

神奈川県横浜市南区東蒔田町2-5  
HP: notetrail.jp (4月中公開)  
ホールに関するお問い合わせ：  
contact@notetrail.jp

後援：スタインウェイ・ジャパン株式会社



アンサンブル・リスコペルタ  
**Ensemble RISCOPERTA**

2011年6月、福島県二本松市での慰問演奏のために集まった、服部奈々(ヴァイオリン)、田口史織(ヴァイオリン)、松本ゆり子(チェロ)、寺田和正(コントラバス)の4名で結成。2014年2月～4月、ティアラこうとう(江東公会堂)小ホールにてロッシーニ「弦楽のためのソナタ」全曲演奏会(全3回)を行い、各回においてオリジナル作品を委嘱、初演。以降の公演でも委嘱、再演を重ねており、これまでに、委嘱作品は11作を数える。

2015年3月にロッシーニの弦楽のためのソナタ第1番と委嘱作品を収めた1stアルバム「metamorfosi」、2018年3月に2ndアルバム「四花繚乱」、2020年9月にデュオ、トリオ編成の楽曲を集めたミニアルバム「Nocturne」をリリース。ヴァイオリン2本とチェロ、コントラバスという珍しい編成の弦楽四重奏の魅力を伝えるべく活動を展開中。

Facebookで情報を発信しています：<https://www.facebook.com/EnsembleRISCOPERTA/>



服部 奈々

*Violin*

東京音楽大学首席卒業、東京文化会館主催推薦音楽会、読売新人演奏会に出演、第2回日本モーツァルト音楽コンクール入選。その後渡欧し、パーゼル音楽院修士課程最優秀にて卒業。現在、主要オーケストラで客演首席奏者として活動する傍ら、ソロ、室内楽奏者としても活躍中。



田口 史織

*Violin*

東京音楽大学を経て、同大学大学院科目等履修生修了。第2回レガシィヴァイオリンコンクール、大学一般部門銀賞、埼玉スバル賞受賞。第18回レ・スプレンドル音楽コンクール室内楽部門(弦楽四重奏)で第3位。2010年より、千葉交響楽団に所属している。



松本 ゆり子

*Cello*

東京藝術大学卒業、大学院修了。1995年～2003年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団奏者、2020年～2025年パシフィックフィルハーモニア東京特別首席奏者。リットーミュージック刊「チェロのしらべ」シリーズの監修も行っている。芥川也寸志メモリアルオーケストラ・ニッポニカ桂冠首席奏者。



寺田 和正

*Double bass*

徳島文理大学音楽学部卒業、同大学音楽専攻科修了。'01年ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現千葉交響楽団)入団、現在に至る。横浜シンフォニエッタ、東京バッハ・カンタータ・アンサンブル、オイレンシュピーゲル、コントラバス四重奏団「一発屋!」、コントラバス・アンサンブル「低音生活」各メンバー。

## Notetrailの誕生について

ステージと客席のあいだに流れる、サロンコンサートならではの親密な空気。そして、大きなホールでは味わうことのできない、すぐそばで響く澄んだリアルな音色。それらを皆様と分かち合いたいという思いこそが、NoteTrail創設の原点です。

「NoteTrail」という名称には、二つの意味を込めました。

「Note」は音符、あるいは音。

音符の「Trail」には、音楽が時の流れとともに積み重ねてきた足跡を。

音の「Trail」には、音が描く軌跡、

すなわち美しい余韻を重ねています。

この場所に集う皆様が音楽家とともに、時代や国境を越え、人類共通の言語である音楽を通して、魂を揺さぶる心の旅へと漕ぎ出す、そのようなかけがえのないひとときを、心ゆくまでお楽しみいただけましたら幸いです。

